

ESG重点課題への取り組みを通じてSDGs達成に貢献します。

当社は、ESG・SDGs基本方針を策定し、環境問題や様々な社会課題の解決に貢献することを目指します。

当社のESG・SDGs基本方針

当社は、ESGに関する重点課題への取り組みを通じて「社会・ステークホルダーとの“共存共栄”」を実現・継続しながら、「SDGs」の達成に貢献する。



< 当社が貢献するSDGs >

5 ジェンダー平等を実現しよう

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

グリーンリファイナリー事業の推進



国内初の森林資源を活用したグリーンリファイナリー事業として、主に四国内の未利用森林資源の収集、木質バイオマスの分解油化によるバイオ原油の製造、バイオ原油を原料としたバイオ製品の製造に至る一連のサプライチェーンの構築に向けた検討を進めています。

国産SAFの普及・拡大に向けた取り組み



国産SAF（持続可能な航空燃料）の商用化および普及・拡大に取り組む有志団体「ACT FOR SKY」に加盟。当社は、株式会社CO2資源化研究所と共同で、木質バイオマスや水素・二酸化炭素を原料とするバイオジェット燃料の製造に関する研究を進めています。

廃タイヤのケミカルリサイクルに関する共同研究



環境エネルギー株式会社の保有する廃プラスチックの分解油化技術と当社の石油精製に関する知見を融合し、サーマルリサイクル以外に再利用が困難であった廃タイヤ等の廃棄物を、再び石油化学基礎原料等として活用するケミカルリサイクルの実現を目指しています。

大規模太陽光発電プロジェクトへの参画



合併会社「SDTソーラーパワー株式会社」を設立し、再生可能エネルギーの普及に取り組んでいます。山口事業所の敷地内に設置されたSDTソーラーパワー山口発電所では、年間約2,000万kWh（一般家庭3,880世帯の年間消費量に相当）の発電を行っています。

環境に配慮したモビリティの追求



セルフ空港給油所（愛媛県松山市）では、太陽光パネル及び、非化石証書付電気により利用する電気の全てを実質再生可能エネルギーで賄っています。また、四国事業所では、オフグリッド型ソーラーカーポートを設置し、EVシェア事業に向けた実証を行っています。

水産養殖における昆虫飼料の研究開発



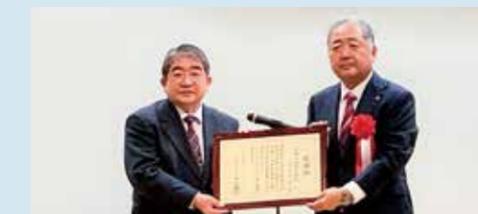
昆虫は持続的に生産可能な食料、飼料として注目が高まっています。爆発的な人口増加等による将来の食糧危機を救う手段として、愛媛大学や愛媛県内の水産会社と連携して、水産養殖の持続化に資する養殖用飼料の開発と社会実装に向けた研究を進めています。

環境保全に関する地域貢献活動



高知県が提案する「環境先進企業との協働の森づくり事業」及び、愛媛県が提案する「企業の森づくり活動」に参画。高知県の町と愛媛県今治市において「太陽が育む森」と名付けた協定森の整備事業支援や社員有志による植林等のボランティア活動を続けています。

次世代を担う人材育成に関する地域貢献活動



愛媛大学において「太陽石油奨学金」を創設。返済不要の給付型の奨学金により、学生の経済的負担を軽減し、学業や研究に専念できる環境づくりを支援しています。製造業が多い愛媛県において、特に技術分野での人材育成に貢献することを目的としています。

コンプライアンス・リスク管理の取り組み強化



当社では、社長を委員長とするコンプライアンス・リスク委員会を開催し、事業活動におけるリスクの適切な管理やコンプライアンスの監督に努めています。また、毎年、コンプライアンス強化月間を設け、コンプライアンス意識の醸成に係る教育等を強化しています。